

防災教育だより

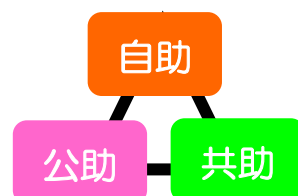
第3号
令和5年 6月吉日
富ヶ丘小学校研究部

4年生が防災学習を行いました

6月7日(水)と9日(金)、計3名の講師の方をお招きして4年生が防災学習を行いました。講師は、富ヶ丘地区の白木さん、鷹乃杜地区の門間さん、そして東日本大震災の際に山下第二小学校の校長をされていた渡辺先生でした。

門間さんと白木さんから、震災のとき学区周辺でどんなことが起きたのか、人々はどのように動いたのかについてお話をいただきました。「ご高齢の方が多いうち地区なので、子供たちが水のタンクを届けるお手伝いをして活躍したんだよ。」ということを知り、自分たちも役に立つことができることを学び、目を輝かせる姿が見られました。

渡辺先生からは、震災の際、校長先生として大きなご判断をされたときのお話を伺いました。「3km先の役場が避難所になっていたが、そこまで避難するべきかどうか迷った。地域の方が来て避難を促してくれたから決断することができた」「低学年の児童は教職員の車に乗せて避難した。地域の方も車を出してくれた」「自分は学校に残り最後まで様子を見た。次の日にヘリコプターで救助された」など、聞くだけで身が引き締まるようなお話ばかりでした。



職員研修会を行いました

6月16日(金)、宮城教育大学の林田先生、東北大学の柴山先生をお招きし、防災についての職員研修会を行いました。5月に実施した引き渡し訓練の反省を基に更に良い方法を検討したり、防災の授業を行う際に大切なポイントを学んだりしました。林田先生による講義では、PDCAサイクル(Plan・Do・Check・Action)の体験として、パスタタワーを作りました。「どうしたら高いタワーになるか」と考え、実行し、振り返る活動を行いました。また、防災グッズも寄付していただきました。今後の授業等で生かすことができそうです。楽しみながらも、大変学びの多い時間となりました。

